

第5回桑名市総合計画審議会 会議概要

日時・場所	平成26年2月19日(水) 17:00~19:00 桑名市役所本庁舎 5階中会議室
出席者	委員: 10名 市: 2名 事務局: 5名
会議次第	1 副市長あいさつ 2 事項 (1) 総合計画基本計画における単位施策の変更について (2) 単位施策に関する記載内容について (3) 単位施策における基本事業および市民の役割に関する案について 3 その他
概要 (主な意見)	2 事項 (1) 総合計画基本計画における単位施策の変更について ・『河川』を単位施策として特に取り上げない場合は、『防災』の基本事業のひとつとなるのか。 ・『河川』を単位施策として取り上げることは市民への市の取組みに関するアピール度は高くなるため良いことだと思う。 (2) 単位施策に関する記載内容について ・分量としては、1つの単位施策について見開き2ページ位のイメージが良いのか。 ・指標について、『市民と市の役割分担』に指標を設定することは困難ではないか。 ・役割は行動指針みたいな表現にとどめた方が良いのではないか。 ・指標を数値化する、文章でとどめる等色々な方法がある。 ・『10年後の目指す姿』まで段階的にステップアップしていくように、基本事業や主要事業(事務事業)を表記すると全体として美しいと思う。 ・指標としては「●年後までに保育施設を整備します」というような数値でないものも有り得る。 ・全体的に物語のような流れで読めると親しみやすく読み易いものになる。 ・指標といっても単位施策によっては数値化することが困難な場合もある。 ・無理に数値化して、達成していても現状が変わらない場合もあるため、弾力的に考えて良いと思う。 ・レイアウトを見ただけで未来が想像できるものが良いと思う。数字や指標も大切だが、市民が明るい夢(未来)を語れるようなものを望む。 ・目に見える形で達成感が味わえるような作りが良いと思う。 ・字ばかり並ぶと、それだけで抵抗を感じる方がいるかもしれないし、特に子どもにとっては記載内容が理解できないかもしれない。総合計画では難しいかもしれないが、絵が入るとなお良い。イメージで共有化できることが望ましい。 (3) 単位施策における基本事業及び市民の役割に関する案について ・全体的に文章が長いので、1文でポイント1点を押さえ複数記述する方が良いのではないか。

- ・全体的に、いかにも行政が作成した文章(文言)がならんでいるように感じるため、なるべく市民目線でもう少し柔らかい表現にした方が良いのではないか。
- ・語尾の使い方について、統一した基準を設け、事業の重み付け(優先順位)をすると良いのではないか。
- ・専門用語や認知度が低い用語には注釈を付けるべきではないか。
- ・あまり踏み込んでも市民には負担になるし、行政の姿勢として、市民にどうしてほしいのかの気持ちが伝わらない。
- ・『市民』とは何かという定義を整理し、行政と違う立場ということを明確にした方が良いのではないか。
- ・『男女共同参画』について『男女共同参画を推進します。』という表現は『家庭や地域・・・教育していきます。』等の表現にしたらどうか。
- ・『市民にはこうあってほしい』という行政側から想いの投げかけも大切だが、参加したくてもなかなか参加できない市民も多いため、『一緒にやしましょう』という考え方で市民に投げかけていくと良いと思う。
- ・『地域福祉』について表現がきつく、『市民のあるべき姿』を言わされている感じがする。
- ・家庭や市民(本人)をサポートする立場の方のあるべき姿が抜けていると思う。
- ・市民がボランティア活動を『推進』していくことは精神的・肉体的・金銭的に負担が大きい。
- ・『障害者(児)福祉』について、ヘルパーや事業者の役割は入れないのか。
- ・市民の役割とは、本来、市民の側から上がってきた市民のあるべき姿を表記できるとよいと思う。
- ・『市民の役割』といわれても、市民としては、自分や家族の生活のために頑張っている、納税の義務や教育を受けさせる義務を果たしていれば、市民の役割は十分果たしていると思う。市民の立場に応じて、市のためにやりたいことがある時は参加の方法が周知されていることが行政側に求められる。
- ・『市民の皆さん、こういう風に参加してくださいよ。』というような、行政側が迎え入れる感じが文章に求められる。
- ・人権政策について、『事業者に社会的責任』と言われると厳しい。普通の事業所は既にCSRとして取り組んでいる。これ以上のことを求められているような感じがする。
- ・消防救急について、住宅用火災警報器の設置の記述があるが、市民の中には正しく理解していない方も多くみえるので、解説がほしい。
- ・『地域医療・健康づくりについて』
 - ・『かかりつけ医やかかりつけ薬局を持つ』とあるが、健康な者まで持つ必要があるのか疑問。特に薬局は市内にたくさんあり、処方箋があればどこでも調剤してくれる。
 - ・『救急車の適正利用』とあるが、何が『適正』なのか分からない。
 - ・『コンビニ受診』とあるが、市民の側は医者を選ぶ権利があり、相性の合わない医者や技術の伴わない医者なら替えるのは当然である。市民の側にだけ『コンビニ受診』をやめさせるのはおかしいように思う。医者のスキルアップも同時に求めるべきであると思う。
 - ・『積極的に地域活動に参加する』とあるが、地域医療と関係があるのか疑問である。
 - ・検診については、『市が推奨する』『広報に掲載される』のような文言を頭に付けてほしい。
 - ・『感染症の予防』は予防接種だけではない。予防接種の中には自己負担が高額な場合もある。手洗い・うがいなど、もっと手軽にできるものを表記しないと市民には負担になる。
- ・「市はこんなことを定期的にやっているから、市民には〇〇をしてほしい」という記述が良いのではないか。

- ・全体的な印象として、命令されているような感じを受ける。これでは全員参加を強制させられているように感じる市民も多いのではないかと。
- ・市民には、身近なこと、(市のために)一歩を踏み出せるようなことを表記してほしい。
- ・押しつけられているような感じを受ける。
- ・『環境・廃棄物対策』の『ありとあらゆる手段や可能性をできる限り試み…』という記述は抽象的で良く分からない。
- ・『医療保険・生活保護』の『生活保護受給者や低所得者などの生活困窮者は…』という記述も、読み手によっては傷つくのではないかと。表現の配慮をしてほしい。
- ・『道路』において『自治会等による維持管理』については既に実施しているため、環境・廃棄物対策と絡めて記述してはどうか。
- ・市民の役割の中には既に実施しており、当たり前のような感じを受けるものもある。感染症予防のための予防接種や手洗い・うがいは当たり前のことであるように思う。
- ・たくさん羅列するよりも、ポイントを絞って表記した方が良いのではないかと。
- ・『公共交通』の『公共交通のあり方を自ら主体的に検討』している市民なんて滅多にいないと思う。ハードルが高いものがあるように思う。
- ・『河川』の『通水を妨げる廃棄物等の流出防止』とは、『ゴミを捨てないでください』ということとどう違うのか、行政表現すぎるのではないかとと思う。
- ・『文化・スポーツ』の『市民一人ひとりが桑名について熟知し、・・・』という部分については、市民一人ひとりが熟知することが、市民の役割なのか疑問に思う。熟知している人は、全員でなくても良いのではないかとと思う。
- ・『シティセールス』と『プロモーション活動』が統合されると、市民の役割も2つの単位施策の合計7個となるのか？市民の役割のハードルが高すぎると、若者が桑名市からどんどん流出することになりかねない。若者にも実現可能な役割を提示してほしい。
- ・市民にも色んな立場の方がみえるので、冒頭に「若者は」「高齢者は」「障害者は」などを付けると親切かもしれない。
- ・『シティセールス』の『映画やテレビのエキストラに協力し参加』するのが市民の役割かとされると疑問。行動まで明記し限定することは厳しい。
- ・市民の中にも色んな立場の方がいるので、もう少し分けて表記した方が良いと思う。
- ・農林業や水産業における市民の役割は、業として活動している方にとっては当たり前のことが多い。すべての単位施策(基本事業)に市民の役割を明記することは無理があるのではないかと。
- ・『農林業』の『農林業者は、他産地との差別化を推進します。』とは、市民の役割であるか疑問である。市としてやることではないのか。また、市の農業の活性化に繋がるのか疑問である。
- ・『農林業』『水産業』の、『市民は、地元農産物の消費に努めます。』と『地産地消に努めましょう。』は、同じではないのか。さらに、具体的に何をしたらよいのか。
- ・実際のところ、すべての単位施策に市民の役割が必要かは疑問が残る。
- ・『シティセールス』『プロモーション活動』については行政の側からの情報発信も重要だと思う。「ふるさと納税」制度で市に縁のない方が納税されている事例をみると、ツールとしての情報発信を設けることは重要だと思う。
- ・『生涯学習』の「自らが持っている能力を活かして」という表現も抽象的だと思う。
- ・産業部門にまで市民の役割を当てはめるのは現実的ではないと思う。市民の役割の表記を入れる・入れないを含め、もう少し柔軟に対応しても良い

	<p>と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告業を営んでいる者として、『都市デザイン』の『違反広告物の除去パトロールの推進』について、違反広告物の除去はプロの業者でも頭を抱えている問題である。市民にどこまで求めていいのか疑問がある。 ・ 『生涯学習』について、「アクティブシニア(アクティブシチズン)」という言葉もある。高齢者の活動(活躍)についての文言が欲しい。 ・ 自分の生活で大変な人と、社会参加(社会貢献)したいと思う人がいると思う。どんな人でも参加できますよ、という役割と、世の中の役に立ちたい人を盛りあげていくこともできますよ、というような表記が求められる。 ・ 『国内・国際交流』の中で『地域活動へ積極的に参加』することが交流につながるのか、良く分からない。 ・ 桑名市の友好都市がどこか分からないので、友好都市についてもう少し情報を入れるといいのではないか。 ・ 『生涯学習』の中の『自らの持っている能力を活かして』という表現はキツイので、表現を変えてほしい。 ・ 外国人を、観光客を中心としたお客様としてみるか、同じ市民として捉えるかで表現はだいぶ変わる。仲間として外国人との共生を図る場合の市民の役割も必要だと思う。 ・ 現在、市内において大小さまざまな団体(NPO)によるボランティア活動がなされている。ボランティア活動はたいへんエネルギーを要するものであり運営上の負担も大きい。市民活動の理解を深めてもらえるような表記がほしい。
担 当 課	市長公室 政策経営課